

## 平成 18 年度当初予算 重点プログラム別概要

### 元気 6：地産地消定着による地域産業活性化プログラム

( 主担当部：農水商工部 )

- ( 1 ) 6 次産業化・アグリビジネス支援事業
- ( 2 ) 地域が支持する農林水産経営育成事業
- ( 3 ) 心豊かな里づくり支援事業
- ( 4 ) 地産地消情報基盤整備事業
- ( 5 ) 地産地消暮らしの魅力発見事業
- ( 6 ) 地産地消子どもの元気づくり事業

< プログラムの事業費 >

( 単位：千円 )

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	131,974	108,000	101,000	341,000 程度
見直し後	119,724	99,947	97,148	316,819

注：見直し後の 16 年度は決算額、17 年度は予算現額、18 年度は当初予算額

< 事業目標の見込み >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) ワークショップから生まれる、農林水産業を起点とした新たな物・サービスの提供(件数)	目標値	10 件	20 件	30 件
	実績値	19 件	20 件	
(2) 新たな産消連携実践育成組織数(累計)	目標値	-	13 組織	25 組織
	実績値	-	13 組織	
(3) 県民と地域が協働した交流活動の取組地区数(累計)	目標値	3 地区	11 地区	21 地区
	実績値	3 地区	11 地区	
(4) データベースシステムへの年間アクセス数(件数)	目標値	-	5 万件	10 万件
	実績値	-	5 万件	
(5) 地産地消ネットワークみえ会員数(累計)	目標値	12,000 人	15,000 人	20,000 人
	実績値	12,059 人	15,000 人	
(6) 地域食材を積極的に学習や体験に活用している小学校・保育園等の数(累計)	目標値	165 か所	230 か所	300 か所
	実績値	166 か所	230 か所	

注：17 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 意欲ある事業者等の新たな物・サービス開発への支援、農山漁村地域の多面的機能を生かした里づくりの取組への支援等を行うとともに、「地産地消ネットワークみえ」や民間事業者等との協働による啓発や情報発信、県民の実践活動への支援、保育・教育現場における食育の推進を行っています。その結果、地産地消の考え方を踏まえた物やサービス提供の活性化が図られ、「地産地消ネットワークみえ」の会員活動の活発化や「みえ地物一番の日」キャンペーン協賛事業者の増加に加え、県内産品を積

極的に購入する人の割合も平成 15 年度調査で 12%であったものが、平成 16 年度調査では 35%に増加しました。

- ・ 地産地消運動が民間活動としてさらに定着していくためには、供給側の事業者と県民（消費者）の間での双方向の情報受発信を促進するとともに、供給側を活性化する取組と県民の認識を高める取組とを連動させ、両者の相互理解や連携を進めていく必要があります。

#### <平成 18 年度の取組方向>

- ・ 県内農林水産業のもつ魅力を十分生かした農林水産物などを県民に届けるための供給側の取組の活性化と県民の地産地消運動に対する理解を深めるため、新たな物やサービスの提供を促進するマッチングや技術支援、農林水産業の持つ多面的機能を意識した新たな産消連携のあり方の検討や、心豊かな里づくりを行う地域の活動への支援、「地産地消ネットワークみえ」との協働による普及啓発、「みえ地物一番の日」キャンペーン等の取組を一層強化するとともに、地域の考え方を大切にし、それぞれの取組を連動させることにより、効果的な事業展開を図ります。

#### <主な事業>

##### 6 次産業化・アグリビジネス支援事業【18 年度当初予算額 17,497 千円】

農林水産業者、加工業者、流通販売業者、サービス提供者等を対象に、異業種交流、マッチング、研究支援等による新商品の開発のための支援を行い、地産地消の考えをふまえた物・サービスが提供される機会を拡大し、地域産業の活性化を図ります。

##### 地域が支持する農林水産経営育成事業【18 年度当初予算額 8,075 千円】

農業が発揮する多面的機能の価値について、生産者側・消費者側双方が理解したうえで成り立つ産消連携のモデル的な取組を支援します。

##### 心豊かな里づくり支援事業【18 年度当初予算額 5,850 千円】

実践的な研究会、研修会等を通じて県民、地域、行政が一体となった「里づくり」の体制の構築を目指すとともに、県内の交流情報の発信等の取組を行います。

##### 地産地消情報基盤整備事業【18 年度当初予算額 3,800 千円】

県内の地産地消に関する情報データベースシステムを構築し、県民が主役となった情報の受発信ができる環境を整備します。

##### 地産地消暮らしの魅力発見事業【18 年度当初予算額 44,178 千円】

「地産地消運動」を生活者の視点に立って進めるため、県民が広く参加する推進母体「地産地消ネットワークみえ」と県・市町が協働を図りつつ、フォーラムの開催や情報発信を行うとともに「みえ地物一番の日」を設定し、三重県産の食材を消費する多様な仕組みや機会をつくるよう支援するほか、県民の食環境整備を進めます。

##### 地産地消子どもの元気づくり事業【18 年度当初予算額 17,748 千円】

子どもたちの地域への関心や、望ましい食生活への理解を深めるため、市町等を支援し、給食への地域食材の導入や体験学習等の食育を推進します。